

RunTime について

注意：

ご自身の PC の Office が 32bit か 64bit か確認してください。

従来の Office は特に指定しない限り 32bit 版がインストールされていましたが、
昨今の Office は 64bit が標準でインストールされています。

32bit 版 Office の AccessRuntime は 32bit バージョンが必要です。

64bit 版 Office の AccessRuntime は 64bit バージョンが必要です。

AccessRuntime は Microsoft より無料で配布されています。

自身の Office の bit の確認は（バージョンによって異なりますが）

Word や Excel から、

「ファイル」→「アカウント」→「***のバージョン情報」

で表示されるバージョン部に「***ビット」と表示されます。

Windows が 64bit でも導入されている Office が 32bit の場合は 32bit 版の Runtime をインストールしてください。もちろん、導入されている Office が 64bit の場合は 64bit 版の Runtime です。
ちなみに、インストールファイルに X86 という表記があるものが 32bit 版です。

複数の AccessRuntime がある場合は 1 つに絞ってください。

Runtime が複数存在すると思わぬ不具合があるかもしれません。

Office、Runtime は導入直後に不具合があるので Update をしてください。

現在報告されている初期不具合：

Runtime2016→用紙が表示されない。

以上はインターネットに繋げて windows アップデートで不具合は解消されています。

Office 等は「推奨設定」で更新許可にチェックをしておいてください。

●本ソフトは Microsoft「Access Runtime2016 以降を推奨」上の動作(Windows7/SP1 以降)のみ可能ですので、必ずパソコンに「Access Runtime2016 以降」をインストールして下さい。
ただし、製品版 Access をお持ちの方は必須ではありません。
今後の事を考えた場合、最新の Runtime365 がお勧めです。

1. 検索サイトにて「access2016 runtime」で Microsoft のページを検索する。
(Access の製品版を所持している場合は 必要ありません。項目「3」に進んでください。)

2. 指示に従って「Access2016 Runtime」をインストールする。

2-1) <https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=50040>

Microsoft Access 2016 Runtime



Microsoft Access 2016 Runtime を使用すると、コンピュータに Access 2016 を完全インストールしていないユーザーに対しても、Access 2016 アプリケーションを配布することができます。

例では 32bit 用を選択します。
accessruntime_4288-1001_x86_ja-jp.exe

ダウンロードするプログラムを選んでください。

ファイル名	サイズ
<input type="checkbox"/> accessruntime_4288-1001_x64_ja-jp.exe	384.2 MB
<input checked="" type="checkbox"/> accessruntime_4288-1001_x86_ja-jp.exe	304.9 MB

ダウンロードの概要:
KBMBGB

1. accessruntime_4288-1001_x86_ja-jp.exe

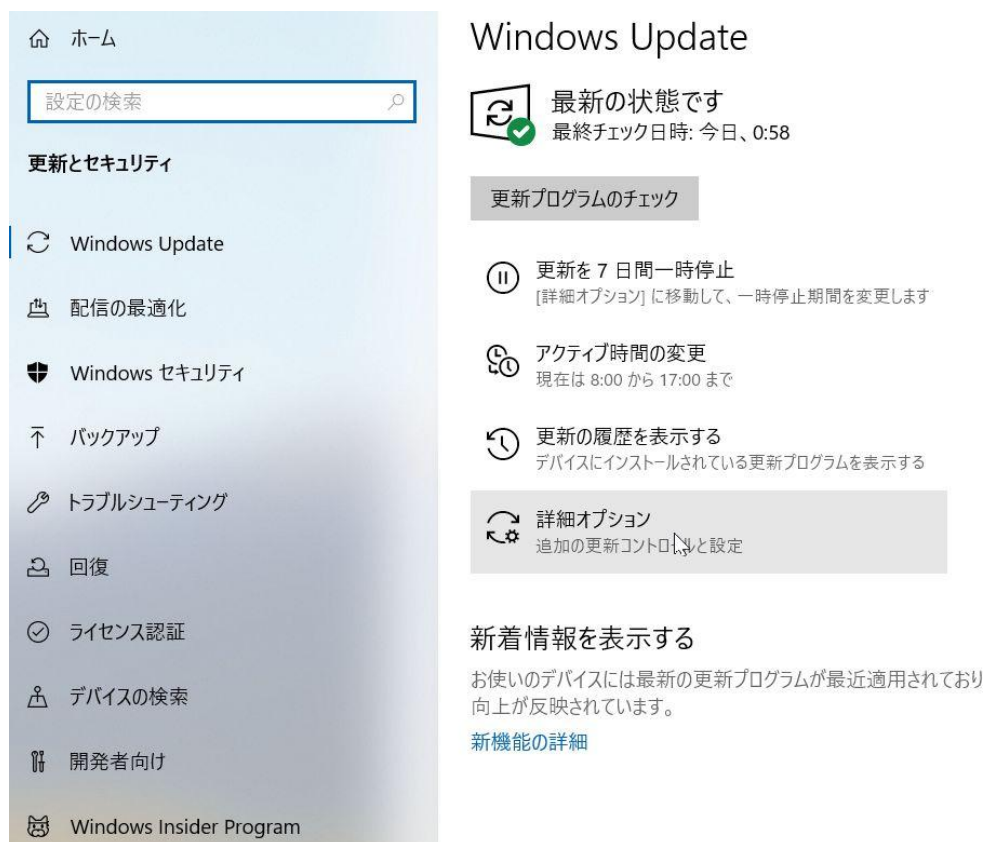
合計サイズ: 304.9 MB

次へ

2-2) Runtime2016 はそのままでは「用紙が表示されない」という不具合があります。
そこで、windows の更新機能で誤りを修正（パッチを当てる）します。



2-3) 設定メニュー → 更新とセキュリティ



🏠 詳細オプション

更新プログラムのオプション

Windows の更新時に他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る



従量制課金接続を使って更新プログラムをダウンロードする (追加料金がかかる場合があります)



更新プログラムをインストールするために再起動が必要な場合は、できるだけすぐにこのデバイスを再起動し、デバイスがコンセントに接続されていて電源が入っている必要があります。



更新プログラムの通知

更新を完了するために PC の再起動が必要な場合は、通知を表示します



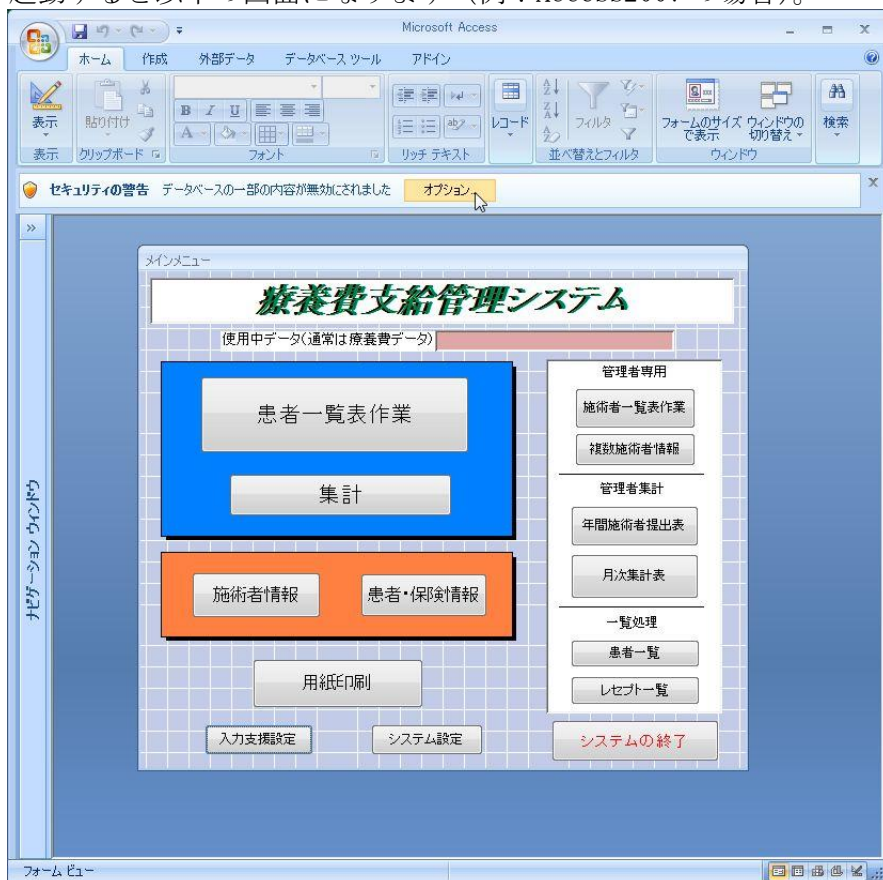
2-4) 詳細オプション → windows の更新に他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る → オン

2-5) 以上で windows を最新にすると自動的に Runtime の更新も行われます。

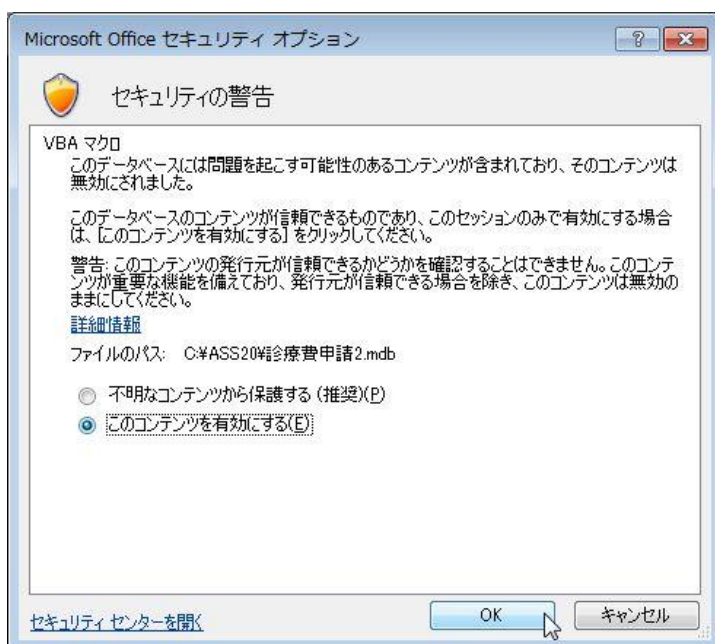
3. 本バージョンの療養費支給申請システムを初めて起動させた場合のみ、Access2007 以降のセキュリティー確認画面の表示を抑える手続きを行う。
これは、Windows に製品版 Access が入っている場合と Runtime が入っている場合で動作が違いますので以降の項目で確認してください。

通常(Runtime2016)は「4-2)」に進んで下さい。

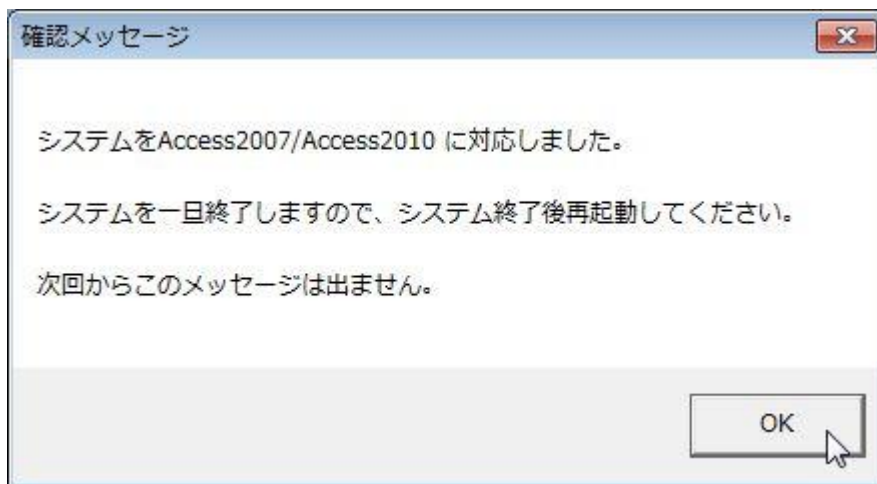
4. 本バージョンの療養費支給申請システムを動作させます。
- 4-1) 製品版 Access2007 以降がインストールされているパソコンの場合。
起動すると以下の画面になります（例：Access2007 の場合）。



このままでは何も動作しませんので、メニュー上部にある「セキュリティの警告」と表示されている部分の「オプション」をクリックします。



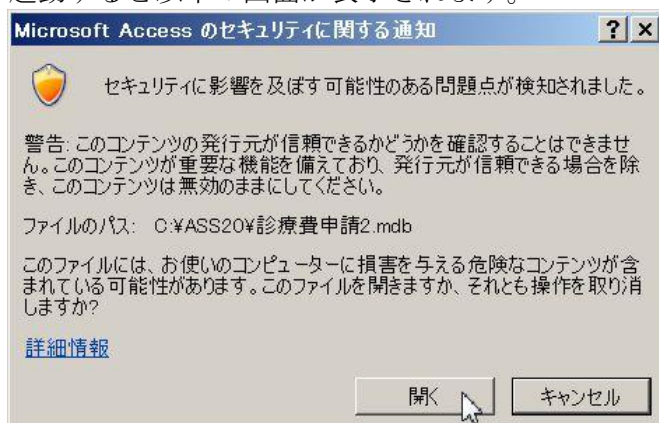
上画面（2007 の場合）が表示されたら、「このコンテンツを有効にする」を選択し「OK」。



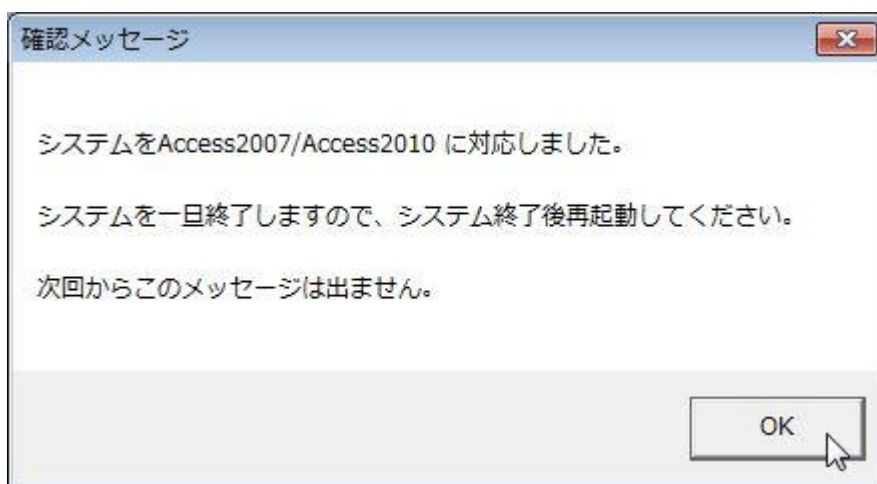
上のメッセージが表示されたら「OK」をクリックして一旦システムを終了させます。

次に本システムを起動すれば一連の作業は出現しません。

- 4-2) AccessRuntime2016 以降がインストールされているパソコンの場合。
起動すると以下の画面が表示されます。



「開く」を選択します。



上のメッセージが表示されたら「OK」をクリックして一旦システムを終了させます。

次に本システムを起動すれば一連の作業は出現しません。

ACCESS RUNTIME の更新について

既にご案内の通り、本システムの動作環境は **AccessRuntime2016** 以降、推奨は **Runtime365** となります。

今回の療養システムは古い AccessRuntime では動作いたしません。
よって、AccessRuntime2016 以降(以上)に更新されるようお願いいたします。
AccessRuntime のバージョン確認は、従来の療養システム→システム設定→バージョン情報→Access Ver.→**16** 以上、なら Access2016 以上です。

導入方法はインターネットにて「**Microsoft Access Runtime**」で検索し、表示される画面に従って行って下さい。

自身の PC に導入されている Office が 64bit の場合は 64bit、32bit の場合は 32bit の Runtime をインストールします。Windows の bit ではありません。

導入されている Office の bit を調べるには Word や Excel の画面から、ファイル→アカウント→バージョン情報にあります。このバージョン情報の右に 32bit とか 64bit と表示されています。古い Office では違う場所にバージョン情報があると思います。

不明な場合はインターネットにて「**office のバージョンを調べる**」で検索してみてください。

AccessRuntime2016 は初期状態で不具合があります。

Windows の Update にて不具合を修正されてから本療養システムをご利用ください。

どうしても古い Runtime で動作させたい場合は特別な療養システムを用意してあります。仕様は今回のものと一緒ですが次回以降は不明です。
ご希望の方は事務局に問い合わせてください。別途料金にて対応した療養システムを作成してお届けいたします。ただし作成に数日時間を頂きます。